



# 顧 剣亨

## Dimensions Unseen



"Dimensions Unseen\_\_003" ©Kenryou Gu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates.

**会期：2024年4月6日(土)～5月18日(土)**  
**2024年4月6日(土)～5月25日(土)**  
※ご好評につき会期を延長いたしました。

\*4月6日(土)18:00よりオープニングレセプションを行います。  
※終了しました

**会場：Yumiko Chiba Associates**  
東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドビューティープラザ 3F  
営業時間: 12:00-19:00 定休日: 日、月、祝日、GW \*5月3日(金)-6日(月)

現在、Yumiko Chiba Associatesでは、顧剣亨個展「Dimensions Unseen」を開催しております。1994年京都生まれ、上海育ちの顧剣亨は、京都芸術大学とフランスのアルル国立高等写真美術学校で現代美術と写真を学んだあと、作家活動を開始しました。

顧は昨年、金沢21世紀美術館において、同館が若手作家を中心とした作家を紹介する展覧会シリーズ「アペルト」で個展「顧剣亨 陰/残像」を開催するなど、気鋭の作家として注目を集めています。

顧は、複数の写真画像をピクセル単位で分解し、画面上の操作により、それら複数の写真を編み込むようにして結合する「デジタルウィービング」と自らが呼ぶ手法による写真作品を発表してきました。

今回の新作個展では、顧がアイスランドを訪れた際に出会った石をもとにした作品を発表します。顧は、石の位置の座標をもとに、世界各地の友人たち16人に石の座標を送り、それぞれの居る場所から石に向かって写真を撮ることを依頼しました。その後、撮影された16のイメージは、「デジタルウィービング」によって編み込まれました。



今展では、この写真のほか、顧が撮影した石の写真や地図などによって構成されます。球体をした地球の実際と平面に配置された地図の座標とのズレをはりみながら産出される複数のイメージの断片は、画像に「デジタルウィービング」を施す顧自身の作業によってひとつの平面上に結合されることとなります。ひとつの石から世界を知覚し、認識することを通して、写真表現の可能性を拡張しようとする顧の新作個展をぜひご高覧ください。

## ステートメント

私たちの視覚は、この三次元的な世界を二次元の網膜像によって推定するように知覚している。このように、人間の認知は多くの物事を抽象化したり省略しながら、この世界の像の断片を掬い続けている。

同様に、私たちが地球を球体と捉えている一方で、平面の地図上に置換しながら認識しようとする行為は、<知覚という制限>と共存しながら思考していることの一例でもある。

今作では、世界各地にいる16人の友人に、ある石の座標を送り、それぞれ自分のいる場所からその座標に向かって写真を撮るように依頼をした。偶然にも彼らは全員、球体である地球上にいることを意識せずに、地図が指し示す水平な方角を判断の基準としていた。しかし実際には、地図と地球には大きなズレがあり、向いているその方角にはその石はなく、私たちは地図上で石を見失ってしまっているのだ。

顧 剣亨

## ■関連情報

### 【トークイベント】

六本木ヒルズ アルスクーリアトークイベント Vol.11

**顧剣亨 x 速水惟広**(T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO ファウンダー / ディレクター)

日時: 4月27日(土)17:30-18:30 (受付開始 17:15)

会場: Yumiko Chiba Associates (六本木ヒルズハリウッドビューティープラザ3F)

定員: 20名\*事前登録申予約制

参加費: 無料

協賛: ハリウッドビューティーグループ

### 【お申し込み方法】

下記の予約サイトのURLまたはQRコードよりお申し込みください。

~~※定員(20名)になり次第、受付を終了いたします。~~

~~<https://hollywood.jp.com/event/arscuriavol11>~~



~~キャンセルされる場合は前日4月26日(金)までに [event@ycassociates.co.jp](mailto:event@ycassociates.co.jp) までご連絡下さい。~~

~~※終了しました。~~

## 登壇者プロフィール

### 速水 惟広 (はやみ いひろ)

T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO ファウンダー / ディレクター。

1982年大阪生まれ。写真雑誌「PHaT PHOTO (ファットフォト)」編集長を経て、2017年に上野公園にて東京で初となる屋外型国際写真祭「T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO」を開催。2020年より東京駅東側エリアを舞台に開催。これまでに手掛けた主な企画展に



「態度がく写真>になるならば」(共同キュレーター マーク・フューステル 2023)、「The Everyday -魚が水について学ぶ方法-」(共同キュレーター きりとりめでる、2022)ほか。日本大学芸術学部写真学科非常勤講師。

## ■アーティストプロフィール

### 顧 剣亨(こ けんりょう)

1994年京都生まれ、上海育ち。京都芸術大学(元京都造形芸術大学)現代美術・写真コース卒業。大学在学中にフランス・アルル国立高等写真美術学校へ留学。現在、京都を拠点に活動中。

移動することで得られる自身の身体感覚を、風景が蓄積するひとつのフィールドと捉え、そこから収集された情報を変換・再構成する装置として写真を拡張的に用いている。時空間を編み込む独自の手法によって、情報の背後に潜在している未知のコンテキストを提示している。主な個展に「アベルト18 顧剣亨 陰/残像」(金沢21世紀美術館/金沢/2023)、「15972 Sampling」(SFERA/京都/KYOTOGRAPHIE 2019)、「Utopia」(GALLERY WATER/東京/TOKYOGRAPHIE 2018)、「霧霾 | Wu-Mai」(ワコールスタディホール京都ギャラリー/京都/2018)、「Utopia」(元淳風小学校/京都/2018)など。主なグループ展に「ENCOUNTERS」(ANB Tokyo/東京/2020)、「Collision point on the dimensions」(The 5th Floor/東京/2021)など。主な受賞歴に「KG + Award 2018」グランプリ、「sanwacompany Art Award / Art in The House 2019」グランプリ。

### 作家ステートメント

私は移動・遭遇を重ねて、人間一都市一自然、三者の関係によって作り上げられるコンテキストを写真でアーカイブしている。

今の時代は自ら移動せずに大量の風景を得ることができるが、そこには風景に対して「～までたどり着く/～から引き返す」といった身体経験が存在していない。無意識状態の私たちは常に膨大な情報の中に身を置いているが、そこに意識を向けた途端、高密度だった情報の大半は脳のフィルターによって、身体への吸収を遮られてしまう。この構造は様々なデバイスと情報を繋ぎ合わせながら、イメージを飛び移り続けている現代人そのものなのである。

目の前の風景を写真に変換することで意識のリミットを解除し、無意識の領域にある高密度のイメージを視覚化することを試みている。

顧 剣亨

### 受賞歴

- 2018 京都造形芸術大学卒業制作展 学長賞  
KYOTOGRAPHIE Satellite Event KG+ グランプリ  
アートアワードトーキョー丸の内 2018 小山登美夫賞
- 2019 sanwacompany art award / art in the house 2019 グランプリ

### 主な個展

- 2018 「Utopia」京都造形芸術大学卒業制作展 京都造形芸術大学、京都  
「Utopia」元淳風小学校、京都  
「Wu-Mai」ワコールスタディホール京都 ギャラリー、京都  
「Utopia」GALLERY WATER, TOKYOGRAPHIE 2018, 東京
- 2019 「inbetweening」サンワカンパニー 東京ショールーム、東京  
「15972 sampling」Sfera, KYOTOGRAPHIE 2019, 京都
- 2021 「A PART OF THERE IS HERE」YUKIKOMIZUTANI, 東京  
「Asymptotic Harbor」京都岩倉AA, 京都
- 2022 「奥の工場見学」千丸屋京湯葉本店, Artists' Fair Kyoto 2022 サテライト(京都)
- 2023 「アベルト18 顧剣亨 陰/残像」金沢21世紀美術館, 金沢

### 主なグループ展



- 2014 「Hi, my name is...」 食堂ルインズ, 京都  
2015 「Uryuyama?」 Galerie Aube, 京都  
2016 「Kyoto Survey Project」 ABSship Gallery, 京都  
「Artotheque Selection」 D&Department Gallery, 京都  
2017 「Open House」 Contemporary Art House Gallery of The Youth, 京都  
2018 「Utopia\_i」 行幸地下ギャラリー、アートアワードトーキョー丸の内 2018, 東京  
2019 「Today is」 ソニースクエア渋谷プロジェクト, 東京  
2020 「2020061620200726」 六本木 蔦屋書店, 東京  
「Yurakucho Art Sight Project」 新国際ビル, 東京  
「ENCOUNTERS」 ANB Tokyo, 東京  
2021 「Collision point on dimensions」 The 5th Floor, 東京  
「constellation #02」 rin art association, 群馬

#### アートフェア

- 2018 ART OSAKA 2018 ホテルグランヴィア大阪, 大阪  
2019 ARTISTS' FAIR KYOTO 2019 京都文化博物館別館, 京都  
2020 ARTISTS' FAIR KYOTO 2020 京都文化博物館別館, 京都  
2023 Art Basel Hong Kong 2023  
2023 Paris Photo 2023

#### 主なコーポレートコレクション

Universal Music Japan (ユニバーサルミュージック合同会社)  
三菱地所株式会社  
DMG 森精機株式会社  
NTT コミュニケーションズ株式会社  
京都芸術大学